



ギガ  
ル

生

意

気

に

ガ  
ゴ

扱

た  
れ

姪っ子が  
ゲイゲイ来る!

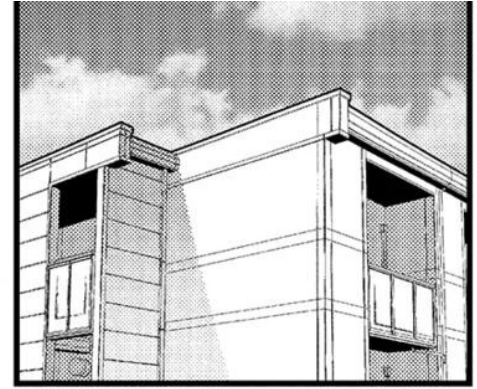
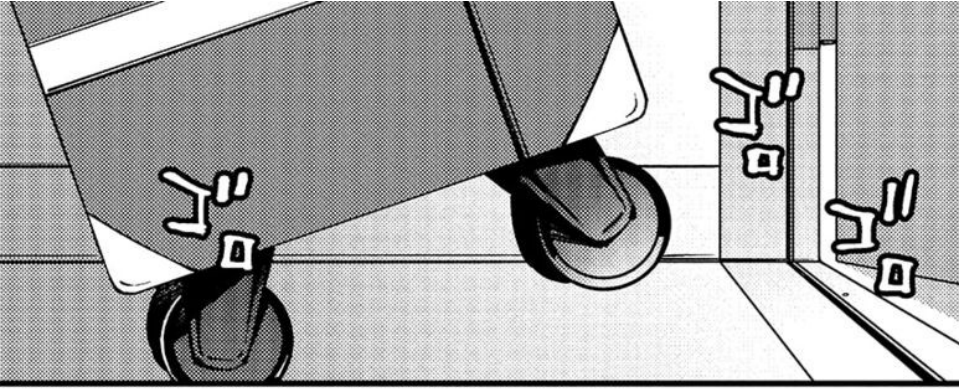
presented by  
Yu Kusano

草野ゆら

俺

1





久しぶり  
おじさん♡

悪魔がやって来た

おじさん♡  
久しぶり♡



厄介事は  
ある日突然  
やって来る

その日我が家に



元義兄の連れ子  
凜を俺に無理矢理  
預けて：

そーだ！

凜も休み明けから  
おじさんが  
先生やってる学校に  
通うからね！

へ？  
本気か？

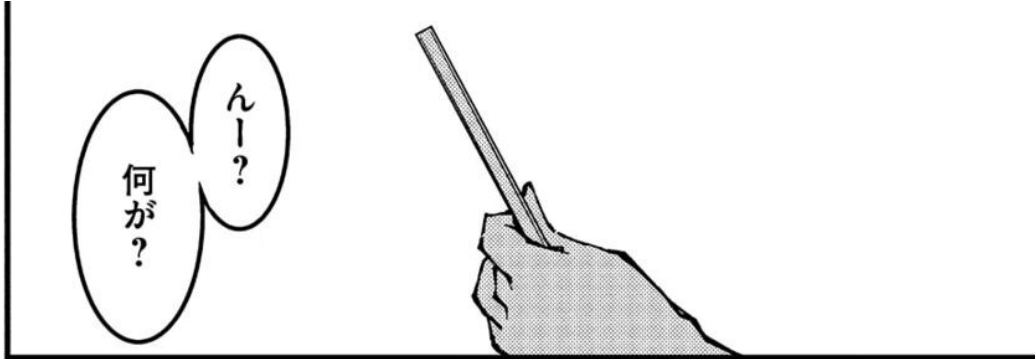
何その顔  
仕方ないでしょ

ママがいつ帰って  
来るか分かんないし

大丈夫！  
迷惑はかけないから

当たり前だ！

やたら荷物が多いと思ったら  
そういうことかよ…



んー？  
何が？



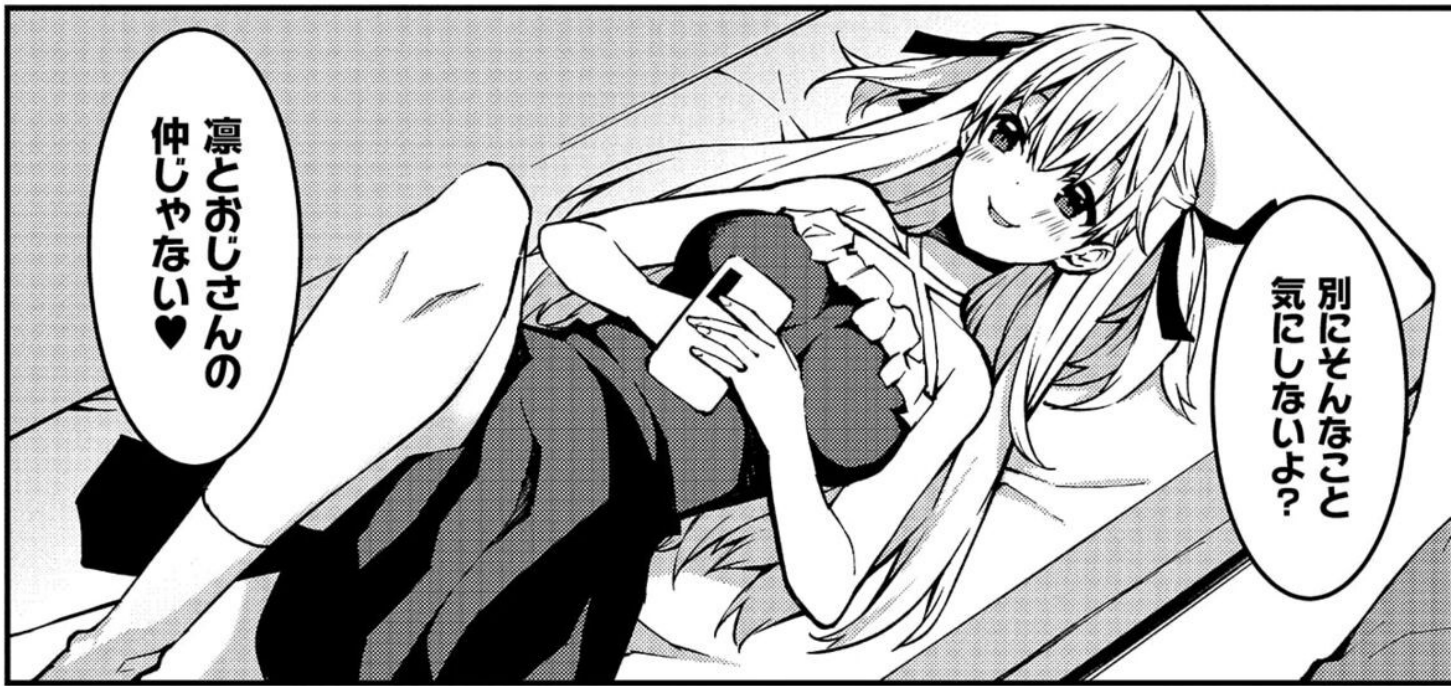
今更だけど  
いいのか？



：

嫌じゃないか？

いや俺と一緒に  
住むことになって



凛とおじさんの  
仲じゃない♡

別にそんなこと  
気にしないよ？



んなことになったら  
俺が姉貴に殺されるわ

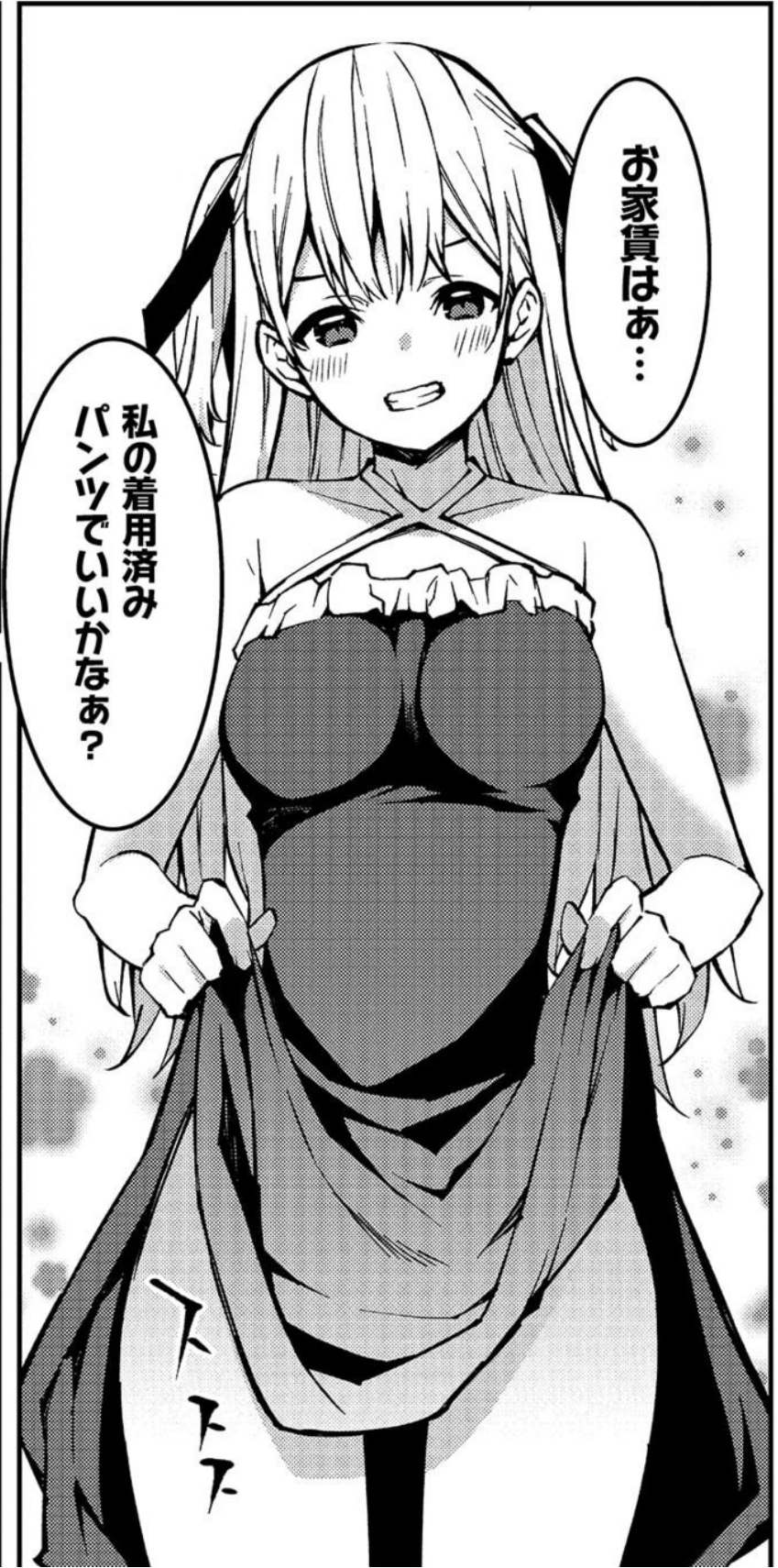


そしたら  
気になんないっしょ

なんなら  
付き合っちゃおう？



あ  
そーだ  
おじさん

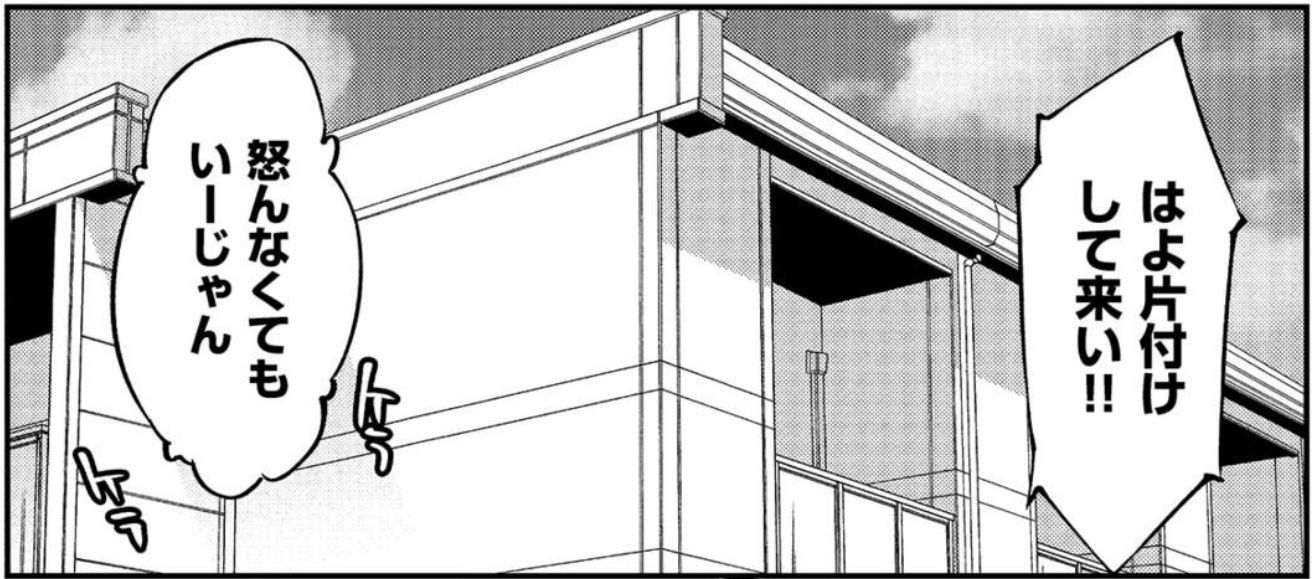




ゴッゴッ

あつはは  
顔真つ赤

んな訳  
無いじゃんね



はよ片付け  
して来い!!

怒んなくても  
いーじゃん

ゴッゴッ



ったく



じゃ

後でね



片付け  
終わったら  
一緒にお茶  
しよーね

はいはい

それから  
俺の悩ましい  
日々が始まった

なんと言っか…  
その…無防備  
すぎるのだ

家の中でくらい  
楽な恰好をしたいと  
言われては強くは言えず

それに…  
その気持ちは分かる

分かるのだが…

年頃の少女の  
肌色面積の多さというのは  
正直色々としんどいのだ…

間違いを起こすつもりは無い  
年下とは言え女と男だ  
俺だって溜まる物は溜まる



仮にも俺は教師だし  
自制心なら誰よりも  
あるつもりだが

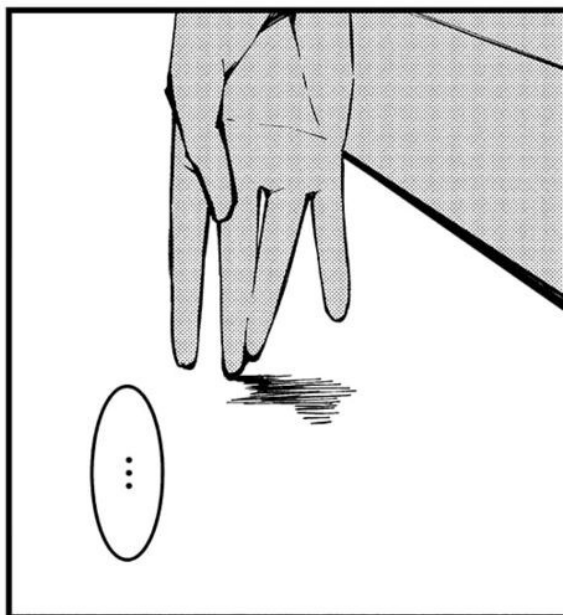
こつも無防備すぎると…

はあ

風俗でも  
行くか…?



凜?



…

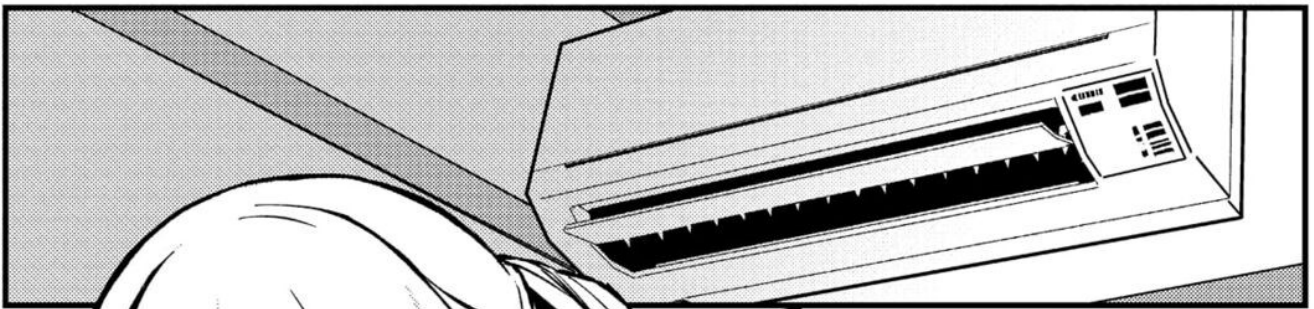


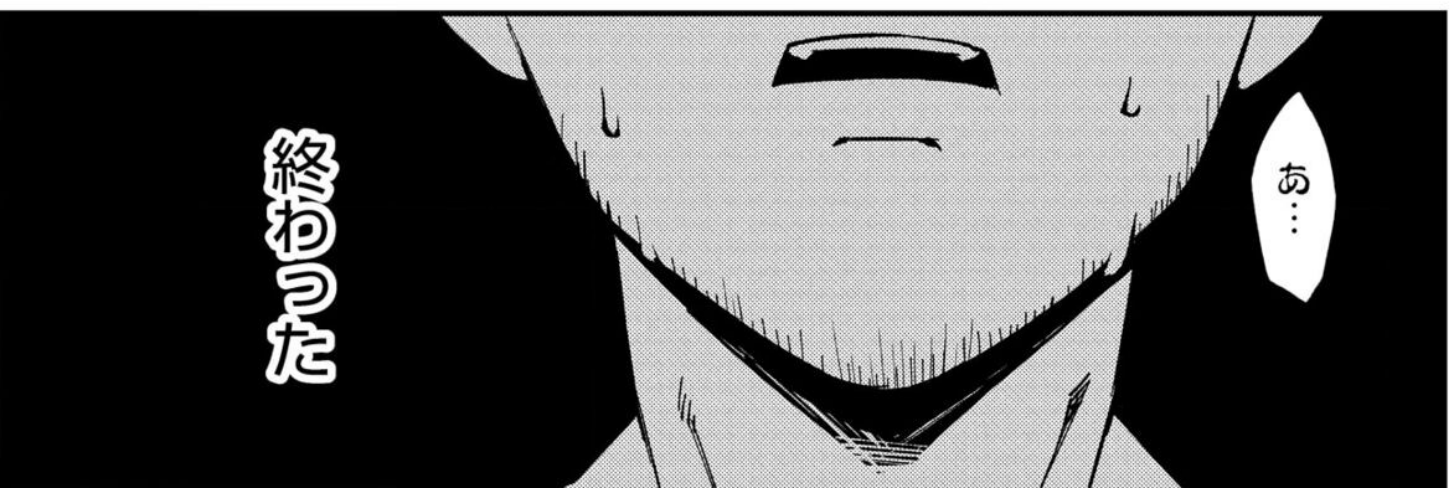
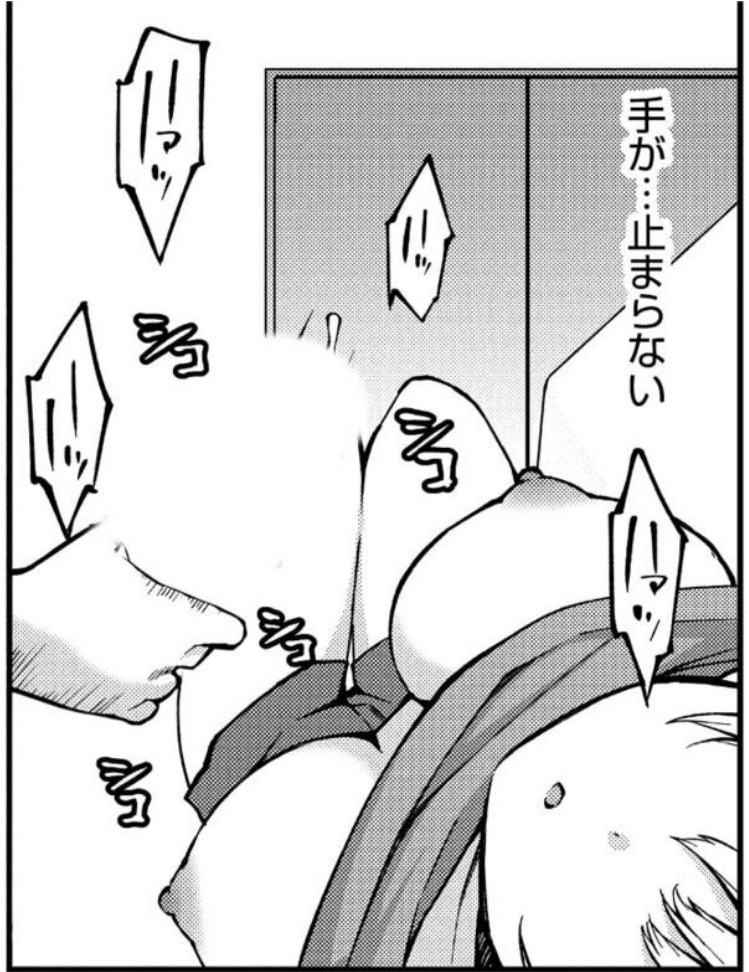
おいおい

マジかよ

寝付き  
よすぎか



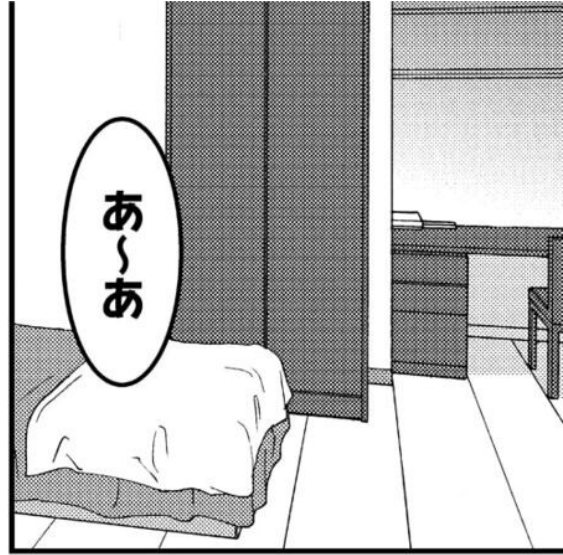




終わった



おじさんが  
あんなことしちゃう  
なんてねえッ



あゝあ



ある意味  
パパより最低だよ

うぐっ



しつかき  
まだギンギンだし

くっせ♡



凜のおっぱいってニューなん  
しちやっただんだめ♡



でもお  
おじさんはオ●ニーだけで  
満足できたのかな？

は…え？

満足って…



凛…っ  
お前何言って…！



年下おっぱいで  
オ●つちやうくらい  
溜まってるみたいだし

凛があ  
おじさんのお●んぼ  
気持ちよくしてあげよっか

って言ってるんだよ♡



そのままの  
意味だけど？  
で…どーする？

おん

おん

おん

早く決めて♡



そんなこと  
言われても…

俺はお前の  
叔父でーッ



おじさんの  
ザコち●ぽは…

おい凜!?



期待で  
こんな  
なってるの!♥

カ  
カ  
カ

あ  
あ



プルプル震えてて  
説得力ないよ♥

大人の癖くせに  
情けないの(笑)

カ  
カ

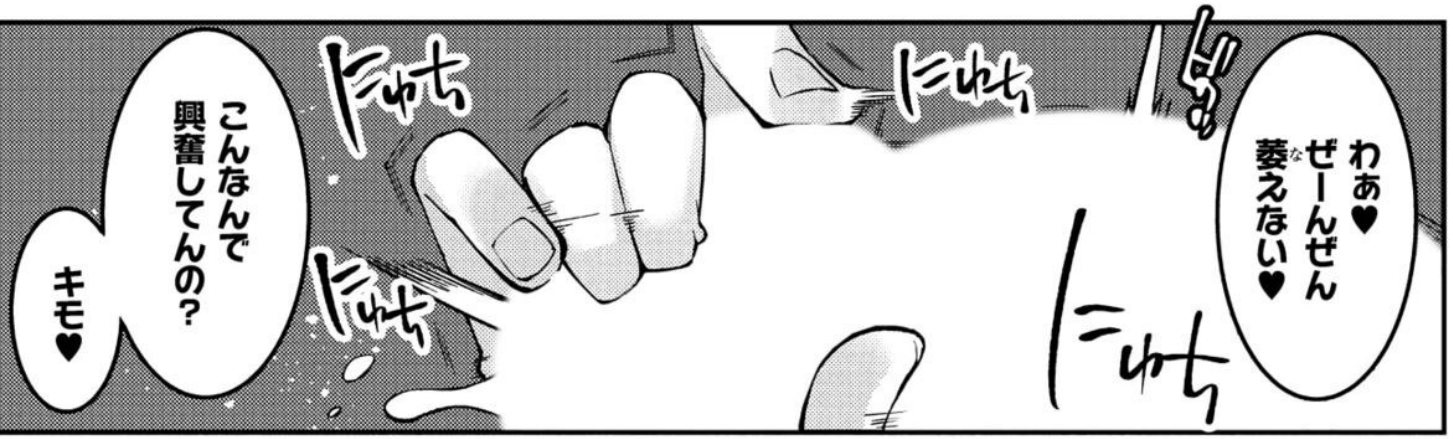
カ  
カ



折角凜がおじいさんの  
ザコち●ぽんぽん持てて  
してあげてくれるのよ♡



大人なのは  
お●んぽだけえ？



わあ♡  
せーんせん  
萎えない♡

こんなので  
興奮してんの？

きせ♡



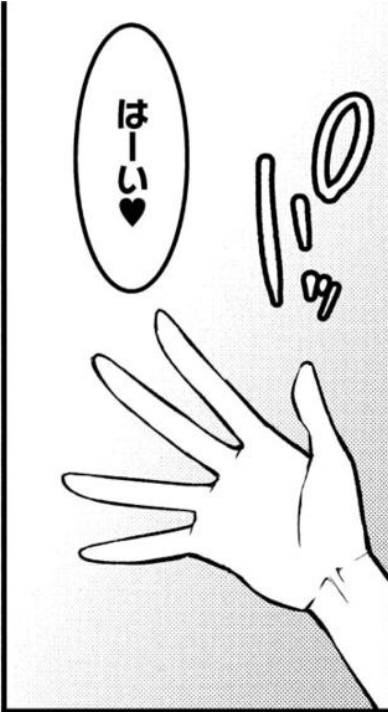
凜…  
やめ…っ

えー？  
聞こえない♡



え…

あ…



はー♡



ダメだッ

凍っ  
手…離せ!!



サコち●ぽの  
負けえ(笑)

言う通りに  
止めたけど?



おじさんが  
悪いんだよ

は  
すぐに答えておけば  
凍に気持ちよくして  
貰えたのにね♡







姉貴の手前  
手を出さない様に  
我慢してきたが…

きゅっ

ハッ

あお  
散々人のこと  
煽りやがって



ふ…

ふうん

言うじゃん

でも変態おじさんに  
そんな度胸ある？



そうか…  
学校か



で？



もし凛に手を  
出したら…

学校に言いつけて  
やるんだからね！



こんなに  
ギチギチに  
締め付けやがって

ギチ

ギチ

凛

お前本当は  
期待してたんじゃ  
ないのか？

ギチ



そんな...

ある...訳  
無いでしょ...

ん

ちゅ

は

おっ

ん...



こんなザラち●ぽで  
気持ちよくなるとい

ん

ならなッ

おっ

おっ

ちゅ





凜…

お前え

まあだ懲りて  
ねえのか!!

おっ  
おっ

おっ  
おっ

おっ  
おっ

おっ  
おっ

おっ  
おっ

おっ  
おっ

おっ  
おっ

おっ  
おっ





なんだ?  
ここがいいのいか?



ちがっ

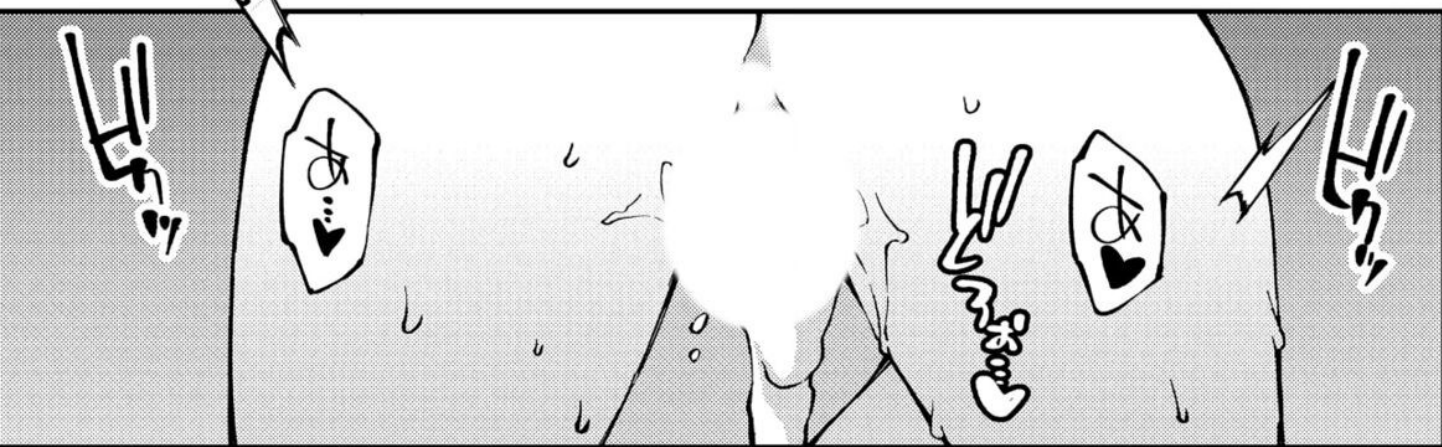
待って!

ま...!!

問答無用だ

おまへ







ちやっ  
たあ

や...の



ちやっ  
たあ

あーあ  
じんまにけいさつ

ちやっ  
たあ

ちやっ  
たあ



私に絶対服従ね♥

おじさんは  
責任取って

とらぬま

この作品はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を  
無断転載・複写・複製・配信  
送信（ホームページ上への転載を含む）  
アップロード・デジタル化することを禁止します。  
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを  
行うことも禁止します。

forCS



ギガ  
ル

生

意

気

に

ガ  
ゴ

扱

た  
れ

姪っ子が  
グイグイ来る!

presented by  
Yu Kusano

草野ゆら

2

俺





えー  
なんぞ?  
緊張が  
うずくま...



凛...  
やめ...っ



カ●首も  
こんな  
膨らんでる♡

ほら



ムムムムムム  
たひひひひひひ  
うさきっん...  
かかっん♡

...ッ  
うあっ...



♥ 5546  
♥ 5546

♥ 5546  
♥ 5546



♥ 5546  
♥ 5546

♥ 5546  
♥ 5546



♥

♥

♥

あはは  
出しすぎ(笑)

ぬん

そんなに  
よかった？

こが梅田  
ちんちんちんちんちんちん  
ちんちんちんちんちんちん

しかも

これだけ  
出しといて  
まだ元気とか

そーのーのせだ  
ナマイキ(笑)

ん...♡

♪♪♪



でも次は  
もう少し  
頑張つてよね

♡ちんちん♡

そしたら  
お口や手ユキ以上のこと  
してあげる♡

なんで…



こうなった

なんで…



毎日毎日  
凜に搾り取られて

限界だ…



カッとなって  
気が付いたらあの状況  
弱みを握られた俺は  
凜に逆らうことも  
できない



俺の財布も  
体力も全て  
奪られる



…スマホ

…

…



はあ

どうすりゃいいんだ…

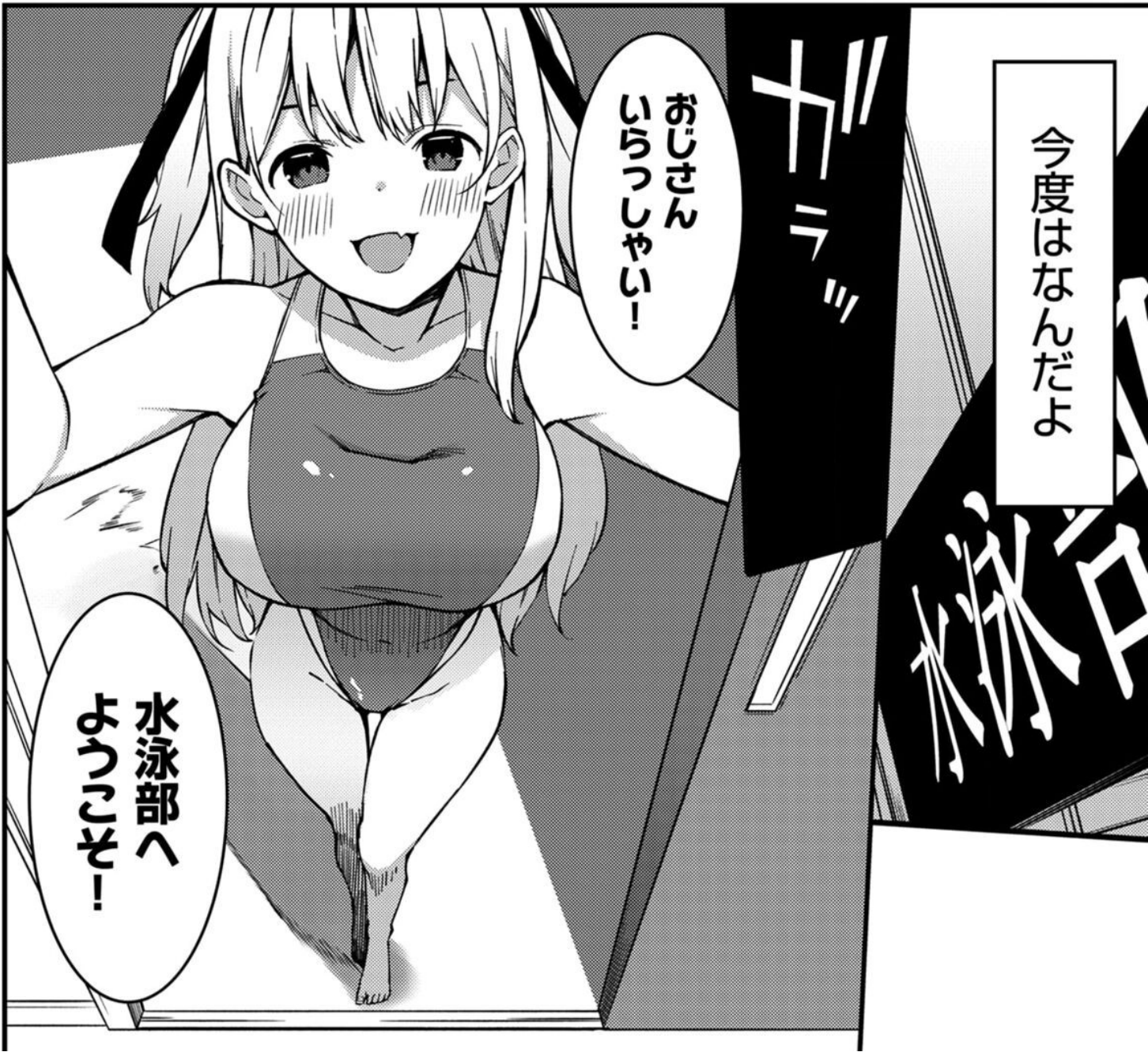
…



う…

凜

すぐに来て



おつかん  
うんこやうー!

今度はなんだよ

水泳部へ  
ようこそ!

水泳部



学校で水着<sup>エッチ</sup>Hしてみたくて  
呼んだんだけど

何その理由!?  
俺仕事中  
だからな!!



何してんだ凜?



何って…



おやあ

おじさんに  
拒否権が  
あるとでも?

ちよっと待って  
通報はやめてっ!?

まあ  
そんなこと  
言っても…

凛の水着見ただけで  
おじさんの股間は  
反応しちゃったのよ

げ!?

本当は期待  
しちゃったのよ

おじさん

いやっ  
これは違…っ

いーから  
脱いで♪

パンツ汚したく  
ないでしょ(笑)

おじさん  
おじさん



ガツキガチ  
じゃん♥

うわ♥

毎日抜いてんのになんてこんなになるかなあ♥



ん...♥

ん...♥

ん...♥



ん...♥

ん...♥

凍...  
みせし

フム



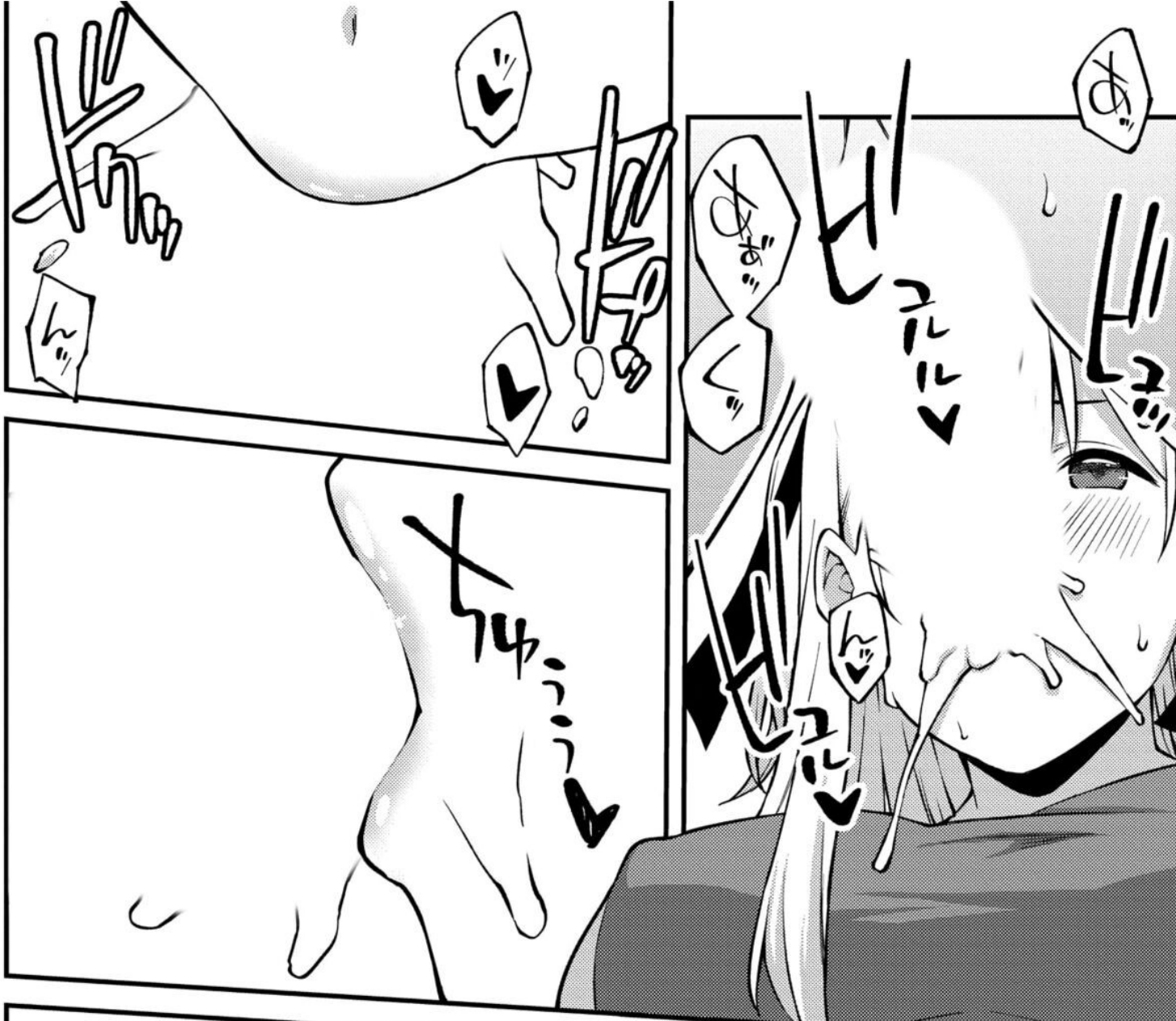
ほういえば…



おじさんのちゃんと  
しゃぶってあげるのって

初めて  
らっけ？









今まで凜と  
散々Hなこと  
してきたじゃない

ぐっ



せつかく  
いい思いが  
できるんだから

楽しめば  
いいのに♡



なんで毎回  
そんなに  
気にするかな

り…凜？

スイッチ入ると  
凄いHになるのになあ…

自発的には  
動かないくせに

身体は  
正直とか…

はあ

まあいや

今日はこのまま  
凍が…

おじさんのお●んぽ  
苛めてあげる♡

う…

ああ!!

お…

お…

お…

お…



おじいさんの  
ち●ほ…っ

お持ちさう♡

おじ…っ



おじいさん♡

おじいさん♡



おじいさん♡

おじいさん…っ

一回目なのに  
かちかち♡



形も...♡

大きさも♡

凛の...♡  
好みなの♡

ほんっ♡

これで...♡  
早漏じゃなかったら♡

んん♡

んんん

んんん

んんん

んんん









生意気は…  
どっちだ!!  
このっ!!



こんな場所で  
盛りやがって…ッ!!

バレたら  
どうすんだ!!



俺の人生…ッ  
終わらす気かあ!!







あれ…部長

ん、

凜ちゃんスマホに  
全然出てくれないから  
捜しちゃったよお

おんが

え？

あつ

ごめんなさいっ

そんで連絡なんだけど…  
たなか田中先生 検査中に急に  
産気づいちゃったらしくて  
そのまま産休だった

なんと！

代理の先生決まるまで  
しばらく部活はできない  
っぽいんだなあ

来月  
大会あるのに  
参っちゃうよ

それなら  
ちようどいい先生  
いますよ

え？  
本当!!

ん？

この作品はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を  
無断転載・複写・複製・配信  
送信（ホームページ上への転載を含む）  
アップロード・デジタル化することを禁止します。  
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを  
行うことも禁止します。

forCS



ギガ  
ル

生

意

吸

に

ガ  
ゴ

扱

た  
れ

姪っ子が  
ゲイゲイ来る!

presented by  
Yu Kusano

草野ゆら

俺

3





咄嗟に  
隠れたけど

あれって

凧ちゃん…だよな

ん

ん

ん

人は見かけに  
よらないって言うけど

っわー

まさか  
凧ちゃんが…

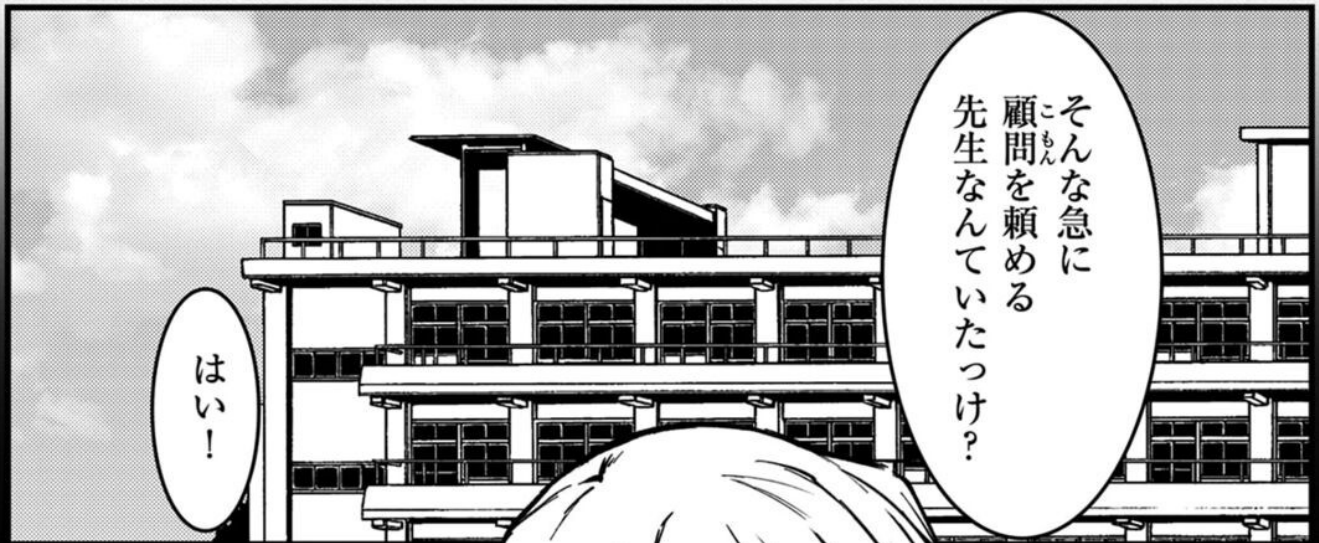


そういえば

...



小岩先生とあんなこと  
してるなんて



そんな急に  
顧問を頼める  
先生なんていたっけ？

はい！



全然大丈夫だよ!!

すぐにその先生に  
顧問の話をお願いしに  
行かなくちゃ!



水泳経験者じゃ  
なくてもいいなら

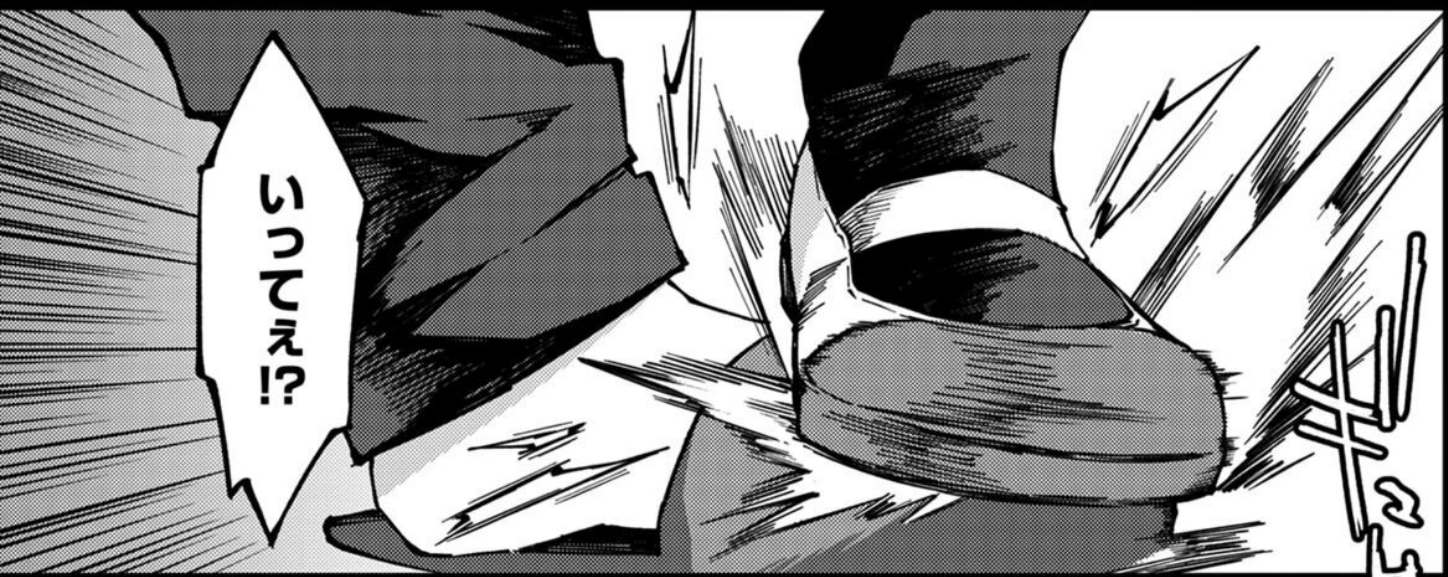
どの部活の顧問も  
してない先生を一人  
知ってますよ!





お…

おう？



うってえ!?

クッ  
クッ  
クッ



あはは



ふん!

しろさき  
城崎…  
お前なあ…



二人共仲が  
いいんですね

なんか  
兄弟みたい

な!?



んー?  
:



そうですよ  
部長!!

?

いやっ  
俺達は別にーッ



とにかく  
顧問の件  
よろしくね小岩先生!!



よくわかんないけど  
仲がいいのは悪い事じゃ  
ないよね?



んっ!!  
あっ!!  
今度は何!?



よく分かんないで  
軽く流しちゃったけど

もしかして二人は  
あの時には既に!?

ええ!?  
あれって!!  
あれって!?

完全に  
挿<sup>は</sup>っちゃってる!?

あんなに激しく  
動いてー…凍ちゃんは  
平気なの!?

でも…  
凍ちゃん  
あんなこと  
されてるのに

凄くHな顔  
してる…



凄い…

S●Xって

…

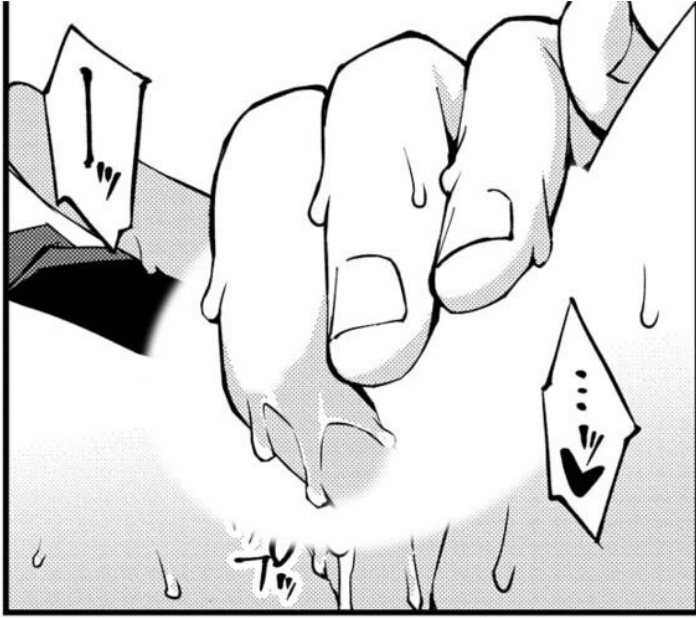


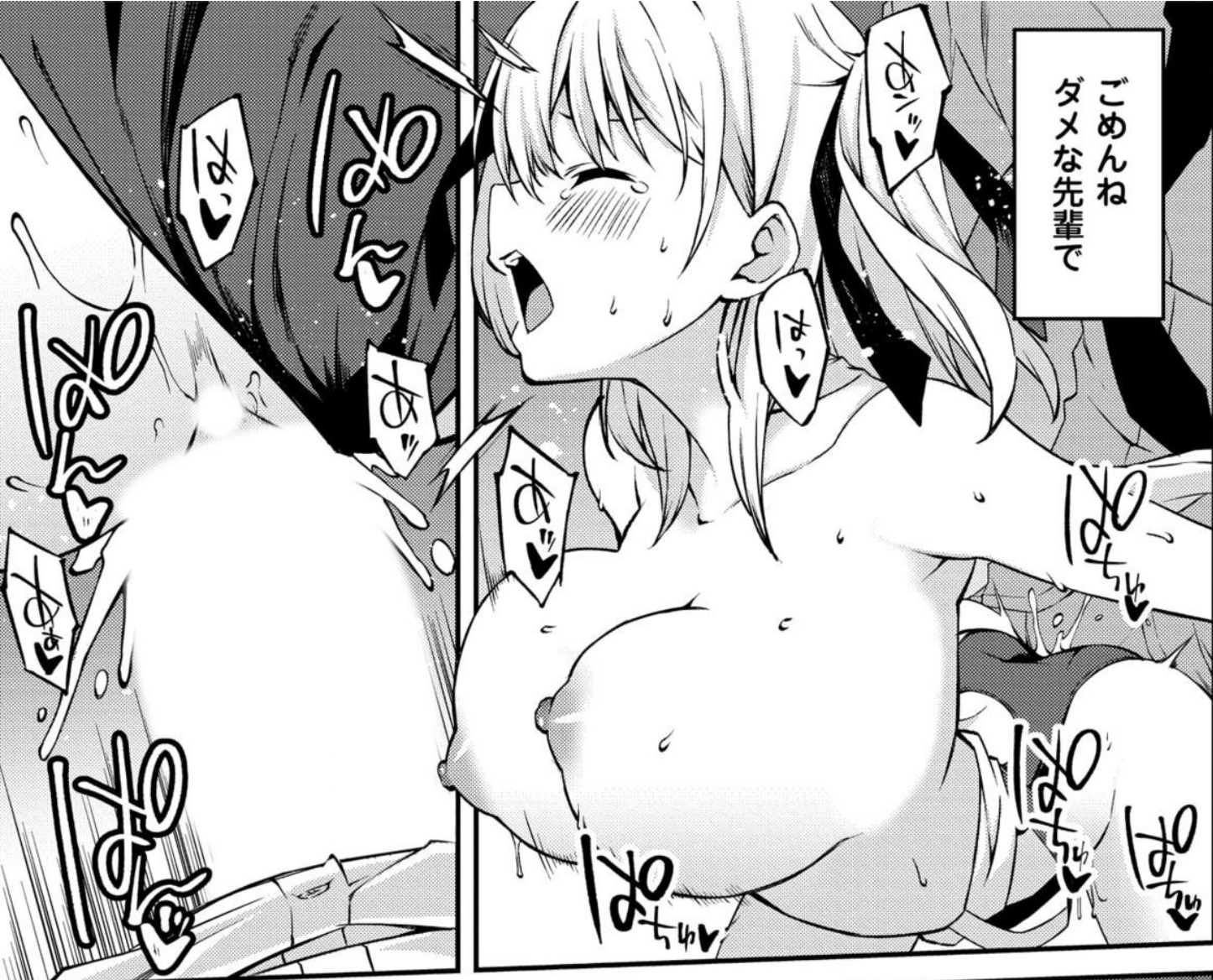
ダメ…

こんな場所  
したら…



気持ちよめよう…



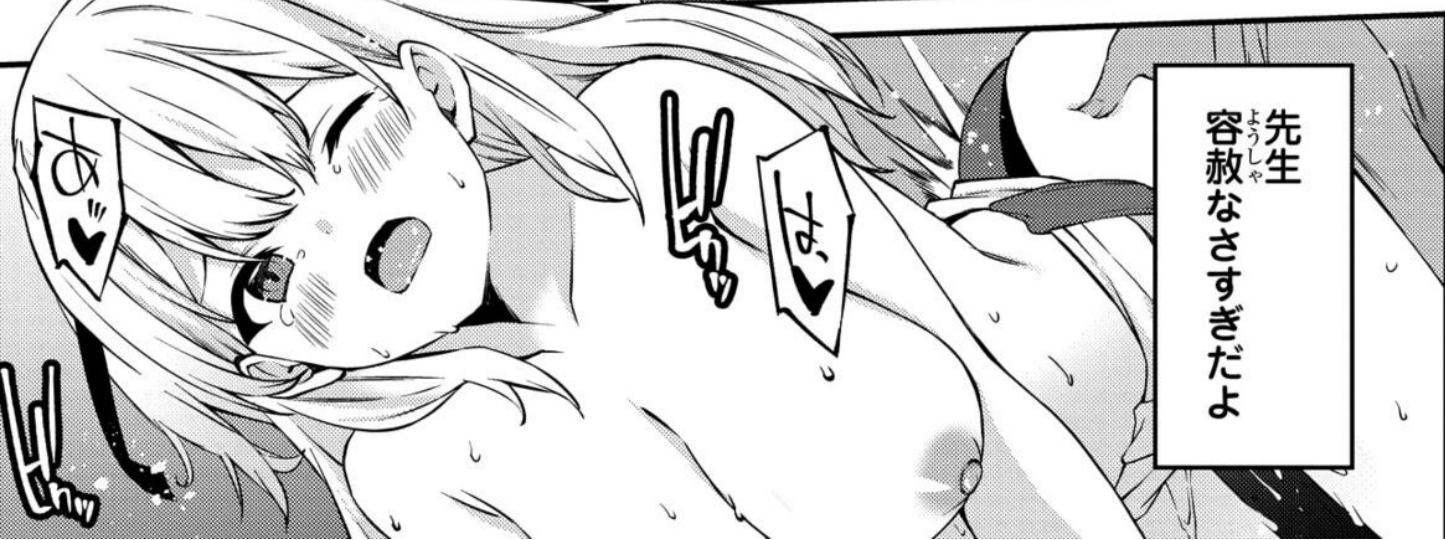


ごめんね  
ダメな先輩で



ああ…  
ああ…  
凜ちゃんの  
小さいお●んこ

あんなに  
潰れて…



先生  
容赦なさすぎだよ

おっぱいも  
あんな風に  
されちゃうんだ

硬くなった  
乳首も……



Hな本じゃ  
分からなかった



あれは  
気持ちいいって  
顔だったんだ

あんな奥まで  
挿っちゃうんだ…

私の指じゃ  
届かない所まで

指なんかじゃなくて  
本物だったらー！…



私のニップも…



欲しい



私も…  
凜ちゃんみたいに



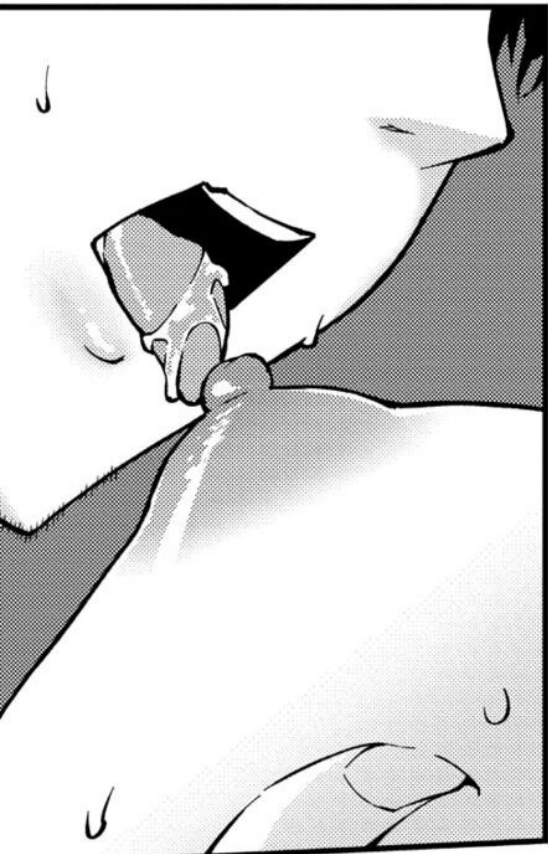


容赦なく  
おち●ちんに  
突かれてみたい





この時間  
プールに誰も  
来ないからって



あんなに  
大きな声を出して





人が来るとか  
考えないのかな



私も挿れたら  
あんな風になるのかな





知りたい



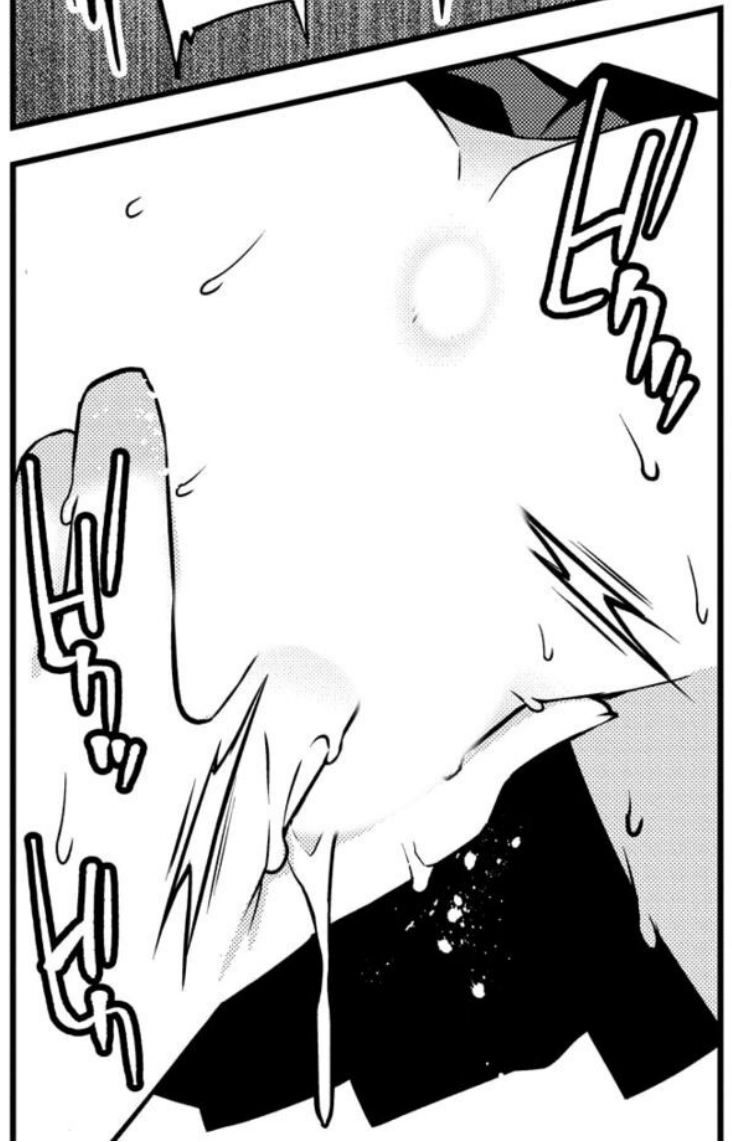
知りたい



知りたい







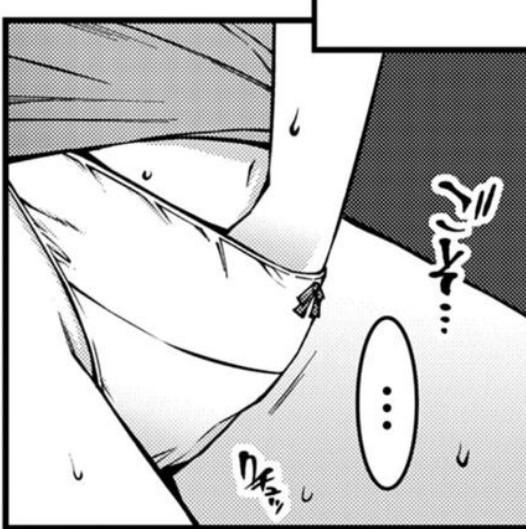
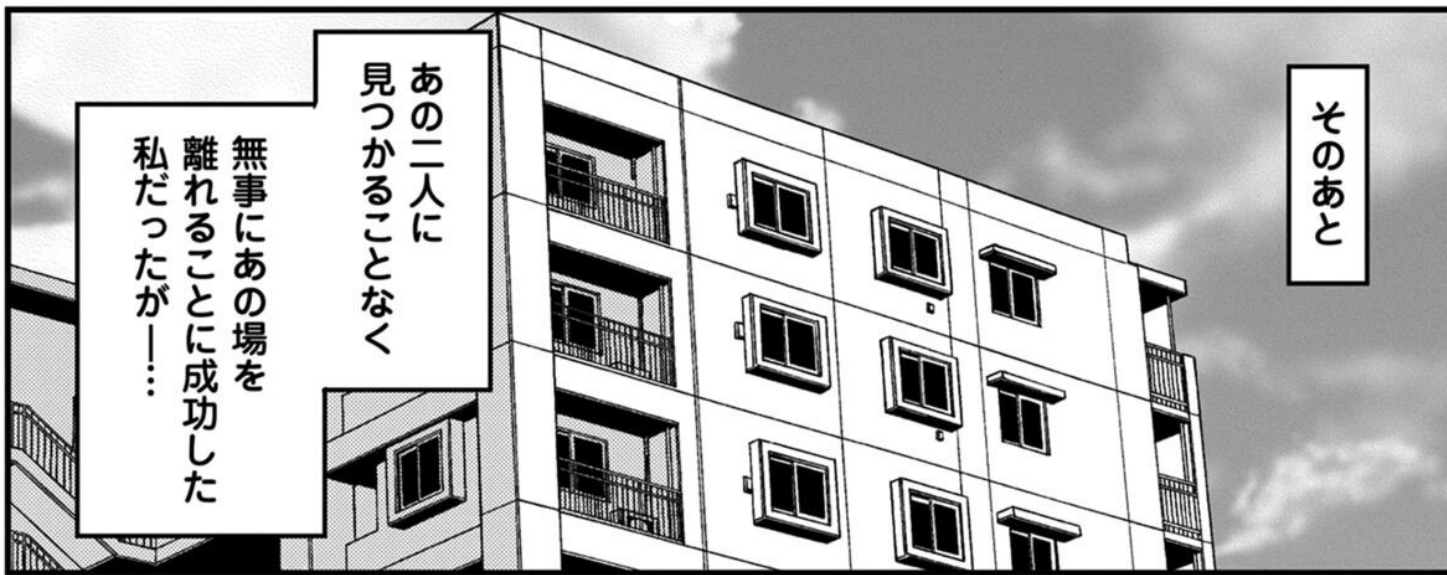




そのあと

あの二人に  
見つかることなく

無事にあの場を  
離れることに成功した  
私だったが一…



…

…

…

なんか…  
物足りない

私も…  
おち●ちん  
使ってみたい



…はあ

この作品はフィクションです。  
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。  
本作品の全部あるいは一部を  
無断転載・複写・複製・配信  
送信（ホームページ上への転載を含む）  
アップロード・デジタル化することを禁止します。  
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを  
行うことも禁止します。

forCS